2012 JAPAN LATTE ART CHAMPIONSHIP

OFFICIAL RULES AND REGULATIONS

TABLE OF CONTENTS（ 目 次 ）

1 概要 4
2 参加資格 4
2.1 参加条件 4
2.2 申し込み 4
2.3 競技者からの質問 4
2.4 規約 5
3 大会運用 5
3.1 審査員構成 5
3.2 競技内容 5
3.3 飲料の定義 6
4 大会の流れ 7
4.1 概要 7
4.2 予選大会 7
4.3 決勝大会 7
4.4 競技エリアの概要 7
5 機器、アクセサリー類、原料類 8
5.1 エスプレッソマシン 8
5.2 グラインダー 8
5.3 （グラインダー以外の）電気機器を使用する場合 8
5.4 提供される設備品、供給品 8
5.5 持参することを推奨する設備品および供給品 9
6 競技者が準備時間の前にすべきこと 9
6.1 競技者オリエンテーションミーティング 9
6.2 準備スペース 9
6.3 競技時の音楽 10
6.4 時間どおりに 10
6.5 ステーション・セットアップ 10
6.6 サポートメンバー／アシスタント 10
6.7 ステージ上に運ぶ備品・供給品について 10
7 準備時間 11
7.1 準備時間の開始 11
7.2 コンテナ及びカートの取り扱い 11
7.3 審査員用プレゼンテーションテーブル 11
7.4 試し抽出 11
7.5 カップを事前に温めておくこと 11
7.6 準備時間の最後に 11
8 競技時間 12
8.1 予選大会における競技時間 12
8.2 準決勝、決勝大会における競技時間 12
8.3 ボランティアスタッフが、提供された飲料を下げることについて 12
8.4 作業ステーションの区画周辺について 12
8.5 競技時間の最後に 12
8.6 競技時間後の会話について 12
8.7 時間オーバーによるペナルティ（減点）について 13
8.8 コーチについて 13

9 技術的な問題について 13
9.1 概要 13
9.2 妨害行為について 13
9.3 アクセサリーを忘れたら 13
10 片付時間 14
11 競技終了後 14
11.1 競技記録の保管について 14
11.2 デブリーフィング（報告会） 14
12 競技者からの異議申し立てと嘆願要請 15
12.1 競技者に関係する問題 15
12.2 スコアシートを見直している際に提起される審査員／審査に関する問題について 15
13 評価項目 16
13.1 競技エリア 16
13.2 飲料の評価 16
13.3 技術の評価 16
13.4 総合的な印象 16
14 技術面の評価方法 16
14.1 評価基準（尺度） 16
14.2 テクニカル評価_エスプレッソ 17
14.3 テクニカル評価_ミルク 18
14.4 テクニカル評価_衛生状態 18
14.5 テクニカル評価_総合 19
15 外観の評価方法 21
15.1 評価基準（尺度） 21
15.2 ビジュアル評価_外観 21
15.3 ビジュアル評価_パフォーマンス 22
16 JLAC 審査員による不誠実な姿勢について 22
16.1 概要 22
16.2 嘆願要請 22
16.3 SCAJ バリスタ委員会における再検討される嘆願について 22
17 連絡先 23
17.1 SCAJ 事務局 23
17.2 競技会事務局 23

1 概要

日本スペシャルティコーヒー協会（以下、SCAJ）が主催するジャパンラテアートチャンピオンシップ（以下、JLAC）は World Coffee Events（以下、WCE）が主催する The World Latte Art Championship（以下、WLAC)の日本代表選考を兼ねて開催され、大会は当協会が定める JLAC ルール＆レギュレーションに準拠して運営されます。

2 参加資格

2.1 参加条件

2.1.1 年齢制限について

競技者は競技会が行われる日に 18 歳以上でなければなりません。

2.1.2 国籍について

競技者は、会員区分を問わず、日本国籍をお持ちの方、若しくは 2 年以上の就業証明書類・就学証明書類を所持していることとします。2 年以上の就業証明書類・就学証明書類により参加申請する場合、国内大会開催の 12 か月前に、上記の期間の条件を満たしていなければなりません。競技者は、WLAC 年度内に 1 カ国のみの代表として WLAC にて競技することができます。

2.1.3 複数のパスポート保持者について

複数の国のパスポートを所持している場合、その出場者はひとつの国を選び、その国の代表者選考会にて資格を与えられなければなりません。

2.1.4 代表選考時の例外事項について

何かしらの理由で、国内優勝者が参加できない場合には、国内競技会での上位順の方から、優勝者の代わりに WLAC への参加ができます。

2.1.5 その他参加資格について

予選大会参加者は 1 会場につき 1 社 5 名までとします。

2.1.6 決勝大会

決勝進出者は各地区予選 5 大会の優勝者、及び地区予選優勝者を除く大会参加者の上位 3 名、計 10 名とします。

2.2 申し込み

2.2.1 登録フォーム

競技者は、JLAC 競技者登録フォームの必要事項をすべて記載の上、協会ホームページより申し込みを行ってください。正式登録は参加登録料の入金確認をもって登録完了とします。入金期日までに入金が確認されなかった場合はキャンセル扱いとします。入金期日は登録フォームの入力確認後、ご案内いたします。

2.2.2 申し込み期間

競技者は、協会ホームページにて定めた期間内に申し込みを行ってください。期間外の登録行為は全て無効となります。

2.3 競技者からの質問

すべての競技者は、最新の当協会が定める JLAC ルール＆レギュレーションとスコアシートについての幅広い理解をしておくこととします。JLAC ルール＆レギュレーションとスコアシートの理解不足による異議申し立てに対しては、例外措置および便宜をとることはありません。すべての JLAC 関連書類は、協会ホームページからダウンロードできます。質問がある場合には、17 項を参照に競技会事務局宛てに連絡をしてください。また、予選当日に行われる競技者オリエンテーションにて質問することも出来ます。

2. 参加資格 [Cont.]

2.4 規約

競技者は下記の規約を理解していることを認めたうえで、JLAC 競技者登録フォームを送信および提出してください。

【要注意】当規約には、個人の責任と JLAC の参加者に賦課され求められることを含んでいることに注意してください。

A. JLAC の優勝者は、SCAJ を代表するバリスタとなること。

B. JLAC 競技者は、以下のことを約束し、エントリーを行ってください。

a. SCAJ が、それぞれの普及促進に際して、競技者の氏名、画像を使用することを許可すること。その使用に際し、いかなる請求もしないこと。

b. 上記の使用に際して、写真、ビデオ、印刷物、インターネット、その他のいかなる電子メディアを含め、いかなる制限も受けないこと。

c. SCAJ の好評を維持するために、積極的に活動すること。

C. 競技者は、SCAJ の定める競技者行動規範をよく読み、また、遵守すること。

D. JLAC 優勝者は、優勝者の行動規範をよく読み、また、遵守すること。

3 大会運用

3.1 審査員構成

それぞれの競技者は、2 人のビジュアルジャッジ、1 名のテクニカルジャッジ、1 名のヘッドジャッジにより審査されます。

3.2 競技内容

a. それぞれの競技者は、2 杯のカフェ・ラテもしくはカプチーノ、2 杯のエスプレッソ・マキアート、2 杯のデザイナー・ラテを提供すること。全部で、6 杯のドリンクを 8 分の競技時間内に提供すること。

b. それぞれの競技者は、全てのカテゴリーにおけるデザインパターンを事前に発表（プレゼンテーション）をしてください。競技当日受付時に A4 用紙にプリントアウトした写真を持参してください。電子媒体での画像表示は受付けできません。

c. どのドリンクから提供するかは、競技者の判断に任せますが、同じカテゴリーのドリンクを提供し終わってから、他のカテゴリーのドリンクを提供してください。

d. それぞれのカテゴリーのドリンクは競技者の裁量に任せられます。（例えば、1 杯ずつ提供するのも、また、2 杯ずつ提供するのも競技者の裁量に委ねられます。ビジュアルジャッジは、提供されたらすぐに審査を始めること。（もし、競技者がカテゴリー以外のドリンクの提供をした場合には、失格となります。）

e. それぞれのカテゴリーのドリンクは、同一のデザインパターンであること。

f. 全てのドリンクは、ソーサーとスプーンを添えて提供してください。

g. 競技者は競技時間中に何杯でも作成することが出来ます。審査員は提供された飲料のみ評価してください。

【要注意】: それぞれの飲料の定義は 3.3 項を参照してください。

3. 大会運用 [Cont.]

3.3 飲料の定義

3.3.1 カフェ・ラテ／カプチーノ

a. 内径 90mm以内のカップを使用してください。形状と材質はどのような物でも使用する事ができます。

b. コーヒーとミルク以外の原料は使用できません。

c. 使用するエスプレッソの液量は競技者に任せられます。シングルショット、ダブルショット、リストレット、いずれも自由に選択することができます。

d. 表面のデコレーションやエッチングを行った場合は、カフェ・ラテ／カプチーノの全項目が 0 点となります。

3.3.2 エスプレッソ・マキアート

a. 内径 60mm以内のカップを使用してください。形状と材質はどのような物でも使用する事ができます。

b. コーヒーとミルク以外の原料は使用できません。

c. 使用するエスプレッソの液量は競技者に任せられます。シングルショット、リストレット、いずれも自由に選択することができます。

d. 表面のデコレーションやエッチングを行った場合は、エスプレッソ・マキアートの全項目が 0 点となります。

3.3.3 デザイナー ラテ

a. 提供時のカップ、及びグラスに特に制限はありません。形状（内容量）と材質はどのようなものでも使用する事ができます。

b. 使用するエスプレッソの液量は競技者に任せられます。シングルショット、ダブルショット、リストレット、いずれも自由に選択することができます。

c. 表面デザインの為であれば、どのような食材でも使用することができます。（食用可能な材料に限る）

4 大会の流れ

4.1 概要

a. 競技スペースは、1, 2 と番号がつけられ

b. それぞれの競技者には、開始順番と競技スペースの番号が割り当てられます。

c. それぞれの競技者には、下記の通り 13 分間が与えられます。

準備時間: 5 分間

競技時間: 8 分間

d. 片付時間は含まれません。

e. 競技の流れは、概略として概ね下記の表の通りです。

ステーション 1		ステーション 2	
第一競技者　準備	5 分		
第一競技者　競技	8 分	第二競技者　準備	5 分
第一競技者　片付け	5 分	第二競技者　競技	8 分
		第二競技者　片付け	5 分
第三競技者　準備	5 分		
第三競技者　競技	8 分	第四競技者　準備	5 分
第三競技者　片付け	5 分		

4.2 予選大会

a. 予選大会のスコアは、決勝大会に持ち越されません。

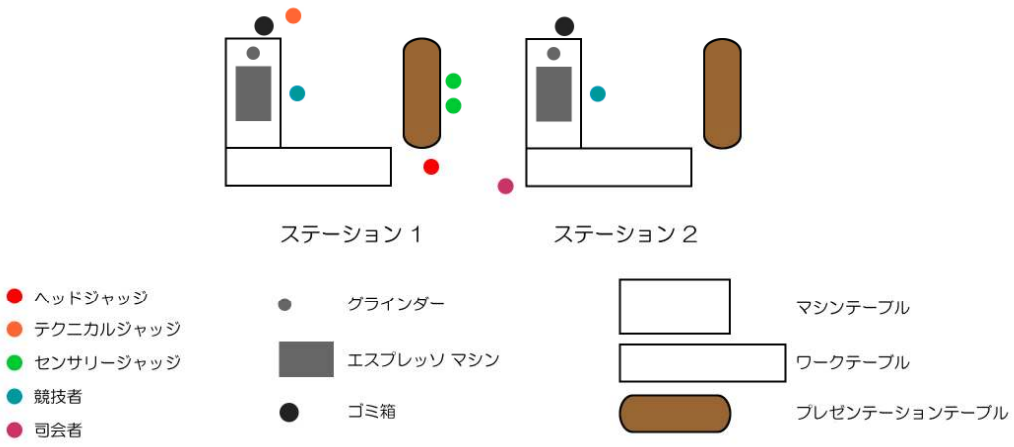
b. 予選ラウンド終了後、予選大会のスコアにより上位 10 名が協会ホームページにて発表されます。

c. 発表日時はイベントマネージャーから発表があります。

4.3 決勝大会

a. 決勝大会終了後、表彰式があります。

4.4 競技エリアの概要



＊ 各ステーションの向きは競技会場によって異なります。

5 機器、アクセサリー類、原料類

5.1 エスプレッソマシン

競技者は、SCAJより提供されたエスプレッソマシンを使用すること。提供されたエスプレッソマシンは、技術的に環境設定されていますので、競技者による変更はできません。エスプレッソマシンは下記のような仕様に調節されています。:

抽出温度: 摂氏 90.5 ～ 96.0 度(華氏 195 ～ 205 度)

抽出圧力: 8.5 ～ 9.5 気圧

5.1.1 エスプレッソマシンの上部に液体設置の禁止

どんな種類の液体や原料もエスプレッソマシン上部へ置いたり、こぼしたりしてはいけません。(エスプレッソマシン上部での、お湯に入ったカップの容器の設置、液体や原料を注いだり、混ぜたりする行為、原料を温める行為は許されていません。)もし、競技者が液体や原料をエスプレッソマシン上部に置いたり、注いだりした場合には、ヘッドジャッジの判断により失格となります。

5.1.2 失格事由

競技者は、エスプレッソマシンの構成要素となるものや設定、部品などを変更、調整、交換することは許されていません。どんな変更や調整も失格事由となります。(例: ポルタフィルター、フィルターバスケット、温度、圧力、スチームワンド・チップなど。)誤用や悪用により大会で使用する機器を破損した場合、その競技を統括しているヘッドジャッジの判断により失格となります。

5.2 グラインダー

競技者は、SCAJ により公式に提供されたグラインダーを使用することも出来ますし、自身で持ち込んだグラインダーを使用することが出来ます。

5.3 (グラインダー以外の)電気機器を使用する場合

競技者は、競技時間中に使用する電気機器を 2 つまで使用することが出来ます。競技者は、事前に、持ち込む電気機器を競技会事務局に連絡してください。(例: ホットプレート、ハンドミキサーなど)。競技者は自身で使用する機器が大会会場で使用できるか、またアダプターやコンバーター(電気変換器)は必要でないかなどは自身で確かめてください。SCAJ では如何なるアダプターも変換機も用意していません。

5.4 提供される設備品、供給品

それぞれの競技スペースには、次のものが設備されています。

- マシン用テーブル(エスプレッソマシン、グラインダー用)＊ サイズは会場により異なる場合があります。
- 作業用テーブル(マシン用テーブルに対して、L 字になるよう左側に設置されます。トレイ、グラス類、そのほかのアクセサリー用)＊ サイズは会場により異なる場合があります。
- プレゼン用テーブル(審査員テーブル)＊ サイズは会場により異なる場合があります。
- エスプレッソマシン＊ マシンは会場により異なります。
- グラインダー
- ノックボックス
- ゴミ箱
- コンテナ(準備時間および片付時間用)

5. 機器、アクセサリー類、原料類 [Cont.]

5.5 持参することを推奨する設備品および供給品

競技者は、自身のプレゼンに必要なものをすべて持ち込んでください。競技者は移動時、もしくは、競技中に破損した場合のために、予備品を用意してください。競技者は、自身で持ち込んだものは、大会期間中、自身で責任を持って管理してください。JLAC ボランティアとイベントスタッフは競技者準備室、競技エリアに残された品目について一切の責任を持ちません。

競技者は、下記の物を持参してください。

- コーヒー（練習用・競技用）
- グラインダー（オプションとして SCAJ が提供するグラインダーを使用することができます。）
- タンパー
- ショットグラス
- スチーム用ピッチャー
- 牛乳
- カップ＆ソーサー（提供用と予備のもの）
- スプーン
- その他競技に必要と思われる小物
- バータオルもしくはきれいなふきん（練習用・競技用）
- 清掃用品（カウンター用ブラシ、グラインダー用ブラシなど）
- トレイ（審査員への接客・提供用）

6 競技者が準備時間の前にすべきこと

6.1 競技者オリエンテーションミーティング

競技が始まる前に、競技者オリエンテーションミーティングが行われます。このミーティングはすべての競技者は参加しなければなりません。このミーティングにて、JLAC イベントマネージャーおよびヘッドジャッジは、大会の流れについてのアナウンスや説明をします。その中で、スケジュールや競技エリアやバックヤードについての説明をします。競技者は、質問や懸念事項などを JLAC イベントマネージャーもしくはヘッドジャッジに質問することが出来ます。

6.2 準備スペース

競技者が使用する、準備用の部屋が用意されています。この部屋は、競技者、ボランティア、イベントスタッフにとってあります。競技者は、自身の機器、アクセサリー、原材料などをこの部屋に保管しておくことが出来ます。この部屋には、原材料を保管しておくために、保冷庫が用意されています。また、食器洗浄用シンクが用意されています。競技者は自身の皿やガラス食器などをきれいにしておくようにしてください。また、自身の品目の管理をしてください。ボランティアスタッフは、各競技者の食器備品の破損や紛失に責任を負いません。

6.2.1 予選大会時の練習時間

競技エリアにはエスプレッソマシンとグラインダーが設置してあります。それぞれ 5 分間の練習時間が競技者に与えられています。練習時間は競技順に基づいて、割り当てられます。（例えば、最初に競技する競技者は、最初に練習時間が割り振られます。）諸事情により競技者が指定された練習時間に参加できない場合、イベントマネージャーにより別の時間が割り当てられます。

6.2.2 決勝大会時の練習時間

練習エリアにはエスプレッソマシンとグラインダーが設置してあります。それぞれ 30 分間の練習時間が競技者に与えられています。練習時間は競技順に基づいて、割り当てられます。（例えば、最初に競技する競技者は、最初に練習時間が割り振られます。）諸事情により競技者が指定された練習時間に参加できない場合、イベントマネージャーにより別の時間が割り当てられます。

6.2.3 準備スペースでの禁止事項

周りの競技者に迷惑となるような行為、及び競技者が著しく動揺する恐れのある発言、行為はしないでください。
節度ある行動を心がけて下さい。

6 競技者が準備時間の前にすべきこと [Cont.]

6.3 競技時の音楽

6.3.1 予選大会

競技者は、自身の競技時間にかける音源を持参することができます。ただし SCAJ では音響装置は用意していません。音楽には、冒涜、不敬な言葉が入っていてはいけません。音源及び音響装置は競技者自身において管理してください。

6.3.2 決勝大会

競技者は、自身の競技時間にかける音楽 CD を持参することができます。音楽には、冒涜、不敬な言葉が入っていてはいけません。競技者の責任において JLAC イベントマネージャー、もしくは競技会事務局へ手渡してください。また競技終了後に返却を希望される場合は、ご自身で受け取るようにしてください。

6.4 時間どおりに

競技者は、少なくとも準備時間開始の 30 分前に、準備スペースにいるようにしてください。自身の準備時間の 15 分前に現場にいない競技者は、失格となります。

6.5 ステーション・セットアップ

JLAC イベントスタッフは、それぞれの競技者の競技ステーションが、準備時間前に、競技者の要望どおりになっているようにする責務を負っています。（例えば、グラインダー、使用する電気機器の位置が競技者の要望どおりになっているかを確認してください。）

6.5.1 グラインダーのセットアップと電気機器のセットアップ

もし、競技者が自身のグラインダーを持ち込む場合には、競技者は、大会前に JLAC イベントマネージャーに知らせなければなりません。イベントスタッフは、15 分の準備時間の開始前に競技者に連絡を取り、競技者がイベントスタッフに自身のグラインダーを運ぶのを手伝ってもらいたいかを確認を取ります。しかし、これらの品目が設置された段階において、競技者はこれらの品目にイベントスタッフの指示なしに触ることは出来ません。即座に、その場から離れてください。

【要注意】: コーヒー豆は準備時間までは、ホッパーの中に入れておいてはいけません。

6.6 サポートメンバー／アシスタント

サポートメンバーは 1 名のみ競技エリアに立ち入ることができます。ただしサポートメンバーはカップを濯いだり、設置されたマシンに触れることはできません。このような場合、競技者は失格となります。

6.7 ステージ上に運ぶ備品・供給品について

競技者が自身の備品・原料を競技エリアに運ぶのにカートを使用できます。準備時間前に、競技者は、カートに自身が使用する食器・備品・原料を積み込んでください。準備ルームから競技ステーションまで、自身でカートを運んでください。ステージ上に上がったら、担当スタッフは、競技者に自身の仕様どおりにセットされているかをたずねます。競技者が「YES」と答えたら、担当スタッフは、ステージ上から下がります。競技者が「NO」と答えたら、どこをどのように変更する必要があるのか尋ねてください。JLAC イベントスタッフは、競技者の要望に合わせて、協力してこれらの調整をすることが出来ます。いったん、セットアップが出来たら、競技者に準備時間の開始の合図をして、ステージから離れてください。

7 準備時間

7.1 準備時間の開始

それぞれの競技者は、JLAC イベントスタッフか、もしくはタイムキーパーの告知により準備時間が始まります。準備時間の目的は、ステーションのセットアップと競技のための準備のためです。競技者が指定されたステーションに着き、自身の仕様にセットされていたら、タイムキーパーは、競技者に用意ができていることを確認します。準備時間の開始以前にいかなる物も触ることはできません。競技者は、準備時間を計測するタイマーのスタートボタンを押してください。準備時間のタイムキーパーは、その瞬間よりストップウォッチによる計測を開始します。

7.2 コンテナ及びカートの取り扱い

競技者は自分自身で、コンテナ及びカートから備品などを降ろしてください。コンテナ及びカートは準備時間内に競技エリアの外に出してください。JLAC イベントスタッフは、準備時間が終わったら、コンテナ及びカートを妨げにならない位置へ移動します。

【要注意】もし、準備時間が終わった時点で、カートの上に品目が残っていても、競技者はカートから積荷を降ろすことはできません。競技者は、競技時間が始まってから、カートから積荷を降ろしてください。9.3 項アクセサリーを忘れたらを参照してください。

7.3 審査員用プレゼンテーションテーブル

テーブルクロスや装飾は必要としません。過度なセットアップはヘッドジャッジの判断によりビジュアルスコアシートのプロフェッショナル パフォーマンス項目における減点となる場合があります。

7.4 試し抽出

競技者には、準備時間中に試し抽出することをお勧めします。パック（ケーキとも呼ばれます。）は、競技時間開始時に、ポルタフィルターの中に残っていても構いません。

7.5 カップを事前に温めておくこと

競技者は、準備時間中にカップを温めておく事が出来ます。しかし競技時間の開始時には、カップの中に水分が無い様にしてください。エスプレッソマシンの上に液体の入ったカップがある場合には大きな減点となります。

（5.1.1 項 エスプレッソマシンの上部に液体設置の禁止を参照してください。）

7.6 準備時間の最後に

競技者は、準備時間を越えて準備することは出来ません。準備時間のタイムキーパーは準備時間中、競技者に、残り時間が、5 分、3 分、1 分、30 秒のときに、アナウンスします。準備時間が経過した時点でタイムキーパーは、タイムコールを行い、一歩下がってくださいと声をかけます。

8 競技時間

8.1 予選大会における競技時間

8.1.1 司会からの紹介

準備時間が経過し、審査員の準備が出来たら、司会者は競技者を紹介します。

8.1.2 競技時間の開始

司会者は、競技者の準備が出来ているかを尋ねます。競技者は競技を開始する前に、8 分間の競技時間を計測するタイマーのスタートボタンを押し、競技開始の意思表示をしてください。競技時間のタイムキーパーは、競技者の意思表示と同時にストップウォッチによる計測を開始します。8 分の競技時間の経過については、競技者自身が責任を持って管理してください。タイムキーパーは競技者に対し、残り時間が、5 分、3 分、1 分、30 秒のときに、アナウンスします。それは、もしかすると競技者が話をしているときであるかもしれません。

【要注意】もし、何かの理由によりタイマーが故障してしまった場合、競技者は自身の競技時間を止めることが出来ません。その際には、タイムキーパーの時間が公式タイムとなります。競技者は上記の時間のアナウンスの提供を受けるでしょう。

8.2 準決勝、決勝大会における競技時間

8.2.1 司会からの紹介

準備時間が経過し、審査員の準備が出来たら、司会者は競技者を紹介します。すべての競技者は、競技中、ワイヤレスマイクの装着を求められます。競技時間中のみ “Live 状態（放送状態）”になっています。

8.2.2 競技時間の開始

司会者は、競技者の準備が出来ているかを尋ねます。競技者は競技を開始する前に、8 分間の競技時間を計測するタイマーのスタートボタンを押し、競技開始の意思表示をしてください。競技時間のタイムキーパーは、競技者の意思表示と同時にストップウォッチによる計測を開始します。8 分の競技時間の経過については、競技者自身が責任を持って管理してください。タイムキーパーは競技者に対し、残り時間が、5 分、3 分、1 分、30 秒のときに、アナウンスします。それは、もしかすると競技者が話をしているときであるかもしれません。

【要注意】もし、何かの理由によりタイマーが故障してしまった場合、競技者は自身の競技時間を止めることが出来ません。その際には、タイムキーパーの時間が公式タイムとなります。競技者は上記の時間のアナウンスの提供を受けるでしょう。

8.3 ボランティアスタッフが、提供された飲料を下げることについて

それぞれのカテゴリーの飲料が提供され、審査員により評価された後に、ヘッドジャッジの指示により、ボランティアスタッフは審査員用のプレゼンテーションテーブルより飲料を下げます。ボランティアスタッフは、カップ＆ソーサーとスプーンのみを下げます。もし、競技者がボランティアスタッフに特別な指示を出す際には、競技時間開始前に、JLAC イベントマネージャーとボランティアスタッフにその指示をよく説明する必要があります。ボランティアスタッフは競技者の邪魔にならないように最善をつくしますが、競技者は自身のステーションへうまく誘導してください。

8.4 作業ステーションの区画周辺について

競技者は、SCAJ から提供された、マシンテーブル、作業テーブル、そしてプレゼンテーションテーブル（審査員テーブル）のみの使用が認められています。いかなる家具や設備の持込みは、失格とみなされます。（例えば、スタンドテーブル、移動式配膳台、作業台等） 競技者が何かを置いておくために、テーブルの下を利用することはできません。

8.5 競技時間の最後に

競技者が最後に提供するドリンクのカップ、及びソーサーから手をはなした時点で競技終了となります。ジャッジテーブルでドリンクの仕上げを行う場合は終了時にジャッジに対して明確な意思表示をしてください。不明確な場合はヘッドジャッジの判断により競技時間の計測を続ける場合があります。

8.6 競技時間後の会話について

競技者は、自身の競技時間が終了した後に、審査員に対して話かけないでください。競技時間後の話は、得点に加算されません。競技者は、競技時間の終了後に、司会との会話を続けることができます。審査員は、競技時間終了後に聞いた会話や説明を考慮してスコア表記することはありません。

8 競技時間 [Cont.]

8.7 時間オーバーによるペナルティ(減点)について

a. もし競技者が割り当てられた競技時間内に終わることが出来なければ、完了するまでプレゼンを続けることが出来ます。

b. 規定の競技時間を越えた場合、10 秒毎に 0.5 点の減点となります。

c. 最大の減点は 6 点です。

d. 競技時間に対し超過時間が 120 秒を超えた競技者は、失格となります。

8.8 コーチについて

準備時間、競技時間を通して、外からのコーチングはいかなる時点でも許されていません。もし、コーチングが行われた場合には、失格となります。サポーターおよび観客、他のチームメンバーからの喝采は大いにしてください。しかし、いかなる方法でも、競技者を手助けすることは許されていません。

【要注意】コーチ、サポーター、友人、家族は競技時間中、ステージ上に上がることは出来ません。

9 技術的な問題について

9.1 概要

a. 準備時間、競技時間の間、競技者は下記のような技術的な問題を感じることがあります。

・ エスプレッソマシンについて(例えば、電力、スチーム圧、電気系統の不具合、水不足、排水の不具合など)

・ グラインダーについて

・ 他の電子設備について (競技時間用タイマーを除く)

・ オーディオ・ビジュアル設備について(例えば、競技者の音楽、マイク等)この場合には、競技者は、手をあげ、「Technical Time Out」とコールし、準備時間中であればイベントマネージャーを、競技時間中であればヘッドジャッジ呼んでください。

b. もし、イベントマネージャーもしくは、ヘッドジャッジが、技術的な問題があり、容易に解消できると判断した場合、イベントマネージャーもしくは、ヘッドジャッジは、競技者にその分の適切な時間を決定します。技術担当者がその問題を修正出来次第、競技者の競技時間は再開されます。

c. もし技術問題がすぐに解決できない場合、イベントマネージャーもしくは、ヘッドジャッジは競技再開を待たせるか待たせないか、競技を中止し、再度割りあてた時間で競技を再開するかどうかについて判断します。

d. もし競技者が競技時間をとめなければならない場合、ヘッドジャッジとイベントマネージャーと共に競技者は、後で、再度、競技時間を調整することとします。

e. もし技術的な問題が競技者のミスによるものと判断された場合、ヘッドジャッジは更なる時間を競技者に与えない場合があります。その場合、競技者は経過した時間は保証されずに、(タイマーが止まっているところから)そのまま競技時間は再開されます。

f. 大会用の設備機器に精通していないことはテクニカルタイムアウトの事由にはなりません。

g. グループヘッド同士が一貫性が無いことや変動することは準備時間時のみ、タイムアウトの事由となります。

9.2 妨害行為について

a. もしボランティア、審査員、観客、カメラマンなどが明らかに競技者の障害物となったとき、競技者は追加時間を与えられます。ヘッドジャッジはこのことを考慮し、どれほどの時間を保証するかを決定します。

b. もし、提供後、十分な時間があったにもかかわらず、審査員用のプレゼンテーションテーブルに、カップ&ソーサーやスプーンが残っていて、このミスにより競技時間の遅延が起こった場合には、競技者はその分の遅れを保証されます。これもヘッドジャッジの責任において決定されます。

9.3 アクセサリーを忘れたら

a. 競技者が準備時間中に自身の設備機器やアクセサリーを忘れていた場合、忘れ物をステージ外にとりに出ることができます。しかし、この間の準備時間のタイマーは停止されません。

b. もし、競技者が競技時間中に自身の設備機器やアクセサリーを忘れていた場合、ヘッドジャッジに自身で忘れ物をステージ外にとりに出るということを申し出てください。しかし、この間の競技時間のタイマーは停止されません。

c. ボランティアスタッフ、サポーター、チームメンバーや観客によって、何も持ってきてもらうことは出来ません。

10 片付時間

競技者は競技を終えたら、作業ステーションの後片付けを始めてください。イベントスタッフは、バックヤードより競技者が荷物を下げるためのカートを運んできます。もし、競技者が自分自身でグラインダーや他の電気機器を持ち込んでいる場合には、イベントスタッフは競技者が作業ステーションからこれらの品目を下げるのを手伝います。競技者は、自身で持ちこんだすべての設備および供給品を下げた後、作業ステーションをきれいに拭いてください。審査員は片付け時間中の作業については評価しません。

11 競技終了後

11.1 競技記録の保管について

11.1.1 JLAC 公式記録について

SCAJ が公認した記録係が、すべての競技記録の集計および機密保持の責任を負います。

11.1.2 競技者の総合得点

競技者の総合得点は、2 名のビジュアルジャッジと 1 名のテクニカルジャッジの得点の総合計から、超過時間によるペナルティを減点することにより集計されます。

【要注意】ヘッドジャッジのスコアシートの得点は、競技者の総合得点にカウントされません。

11.1.3 同点の場合

もし、2 名以上の競技者の総合得点が同点であった場合、公認記録係は、ビジュアルスコアの合計得点を計算し得点が高い競技者から上位とします。

11.2 デブリーフィング（報告会）

競技者は審査員と共に、自身のスコアシートを見直すことが出来ます。

a. 競技者は、スコアシートの元本を持ち帰ることは出来ません。

b. JLAC の終了後、競技会事務局は、各競技者へ郵送によりそれぞれのスコアシートを送付します。

12 競技者からの異議申し立てと嘆願要請

12.1 競技者に関係する問題

12.1.1 異議申し立て

もし、競技者から JLAC 大会中に、JLAC に関しての問題が提起され、もしくは異議申し立てが成される場合、競技者は、JLAC イベントマネージャーに連絡してください。イベントマネージャーは、その場で解決できる問題かどうか、SCAJ バリスタ委員会に対して書面にて、嘆願する必要があるかを検討します。もし、JLAC イベントマネージャーがその場で解決できる問題だとの判断を下した場合、関係各者にその方法が、公平公正であるかどうかを確認します。競技者からの問題提起や異議申し立ては、その場で、JLAC イベントマネージャーと SCAJ バリスタ委員会とで議論、決断がなされ、JLAC イベントマネージャーより競技者へその決定事項が伝達されます。

12.1.2 嘆願要請

もし、競技者が不平不満を持ち、その不満がその場で解決できなかったり、もしくは、競技者がその場での決定に対して、嘆願を望んでいる場合、JLAC イベントマネージャーは、競技者へ公式な不平もしくは、嘆願として書面にて提出するようにと話をします。SCAJ バリスタ委員会の決定は、最終判断となります。SCAJ バリスタ委員会への異議申し立て、および、嘆願には、下記の事項を必ず明記してください。

a. 競技者名
b. 日付
c. 異議申立文章
d. 問い合わせの日時
e. 競技者からのコメント／解決案
f. 関係者名
g. 競技者の情報（返信用として）

上記情報が含まれていない書面による異議申し立て、嘆願は取り扱いしません。競技者は、不満の元となる決定がなされてから 24 時間以内に、競技会事務局へ E-mail にて送付してください。

12.1.3 SCAJ バリスタ委員会における再検討される嘆願について

SCAJ バリスタ委員会は、書面による異議申し立て、および嘆願を受け取ってから 30 日以内に再調査、再検討します。最終判断は競技者へ郵送、もしくは E-mail にて連絡します。

12.2 スコアシートを見直している際に提起される審査員／審査に関する問題について

12.2.1 異議申し立て

もし、競技者が、審査員より与えられたスコアに対して異議を唱える場合には、競技者デブリーフィング（報告会）にて、当該ヘッドジャッジと会い、異議申し立てをしてください。ヘッドジャッジは、その場で、JCP 認定審査員と SCAJ バリスタ委員会の代表者と議論をもちます。JCP 認定審査員と SCAJ バリスタ委員会は、その場で判断を下し、競技者へその決定を連絡します。

12.2.2 嘆願

もし、競技者がその決定に同意できない場合は、SCAJ バリスタ委員会へ書面による嘆願を行ってください。SCAJ バリスタ委員会の決定は、最終判断となります。SCAJ バリスタ委員会への異議申し立て、および、嘆願には、下記の事項を必ず明記してください。

a. 競技者名
b. 日付
c. 異議申立文章
d. 問い合わせの日時
e. 競技者からのコメント／解決案
f. 関係者名
g. 競技者の情報（返信用として）

上記情報が含まれていない書面による異議申し立て、嘆願は、取り扱いしません。競技者は、不満の元となる決定がなされてから 24 時間以内に、競技会事務局へ E-mail にて送付してください。

12.2.3 SCAJ バリスタ委員会における再検討される嘆願について

SCAJ バリスタ委員会は、書面による異議申し立て、および嘆願を受け取ってから 30 日以内に再調査、再検討します。最終判断は競技者へ郵送、もしくは E-mail にて連絡します。

13 評価項目

13.1 競技エリア

テクニカルジャッジは、競技開始時および競技終了時の競技エリアの清潔さを評価します。

13.2 飲料の評価

ドリンクにおける外観により評価され、得点が与えられます。

13.3 技術の評価

競技者の技術的な知識やエスプレッソマシンやグラインダーの操作技能に基づいて、得点が与えられます。

13.4 総合的な印象

競技全体を通して、競技者の総合的な印象により得点が与えられます。

14 技術面の評価方法

テクニカルスコアシートについての説明をします。それぞれの競技者は、1 名のテクニカルジャッジにより評価されます。

14.1 評価基準（尺度）

評価の尺度は、テクニカルジャッジ、ビジュアルジャッジと共に同じ尺度です。ここでは、YES/NO 項目と 0－6 点項目の 2 通りの評価の仕方があります。

14.1.1 YES/NO スコア

YES=1, NO=0

競技者は、YES であれば 1 点を、NO であれば 0 点を獲得します。

14.1.2 0-6 点 スコア

許容できない= 0 許容はできる= 1 標準 = 2 良い = 3 とてもよい = 4 優秀 = 5 並外れている驚くべき = 6

1 点から 6 点の間において、0.5 点きざみの評価が得られます。ハーフポイントは、小数点を使用し、10 進法にて明記してください。（分数ではありません。）例えば、1.5、2.5、3.5 と記載します。0 点という評価は、全く許容できない場合のみつけることになります。項目によっては評価された点数の 2 倍、もしくは 4 倍の得点が与えられます。

14 技術面の評価方法 [Cont.]

14.2 テクニカル評価_エスプレッソ

	FREE POUR MACCHIAT		FREE POUR LATTE		DESIGNER LATTE	
	YES / NO		YES / NO		YES / NO	
エスプレッソ						
グループヘッドの洗い流し						
ドーシング前のバスケットは乾燥/清潔にされているか						
ドーシング/グラインディング時のコーヒーのムダ/こぼし						
一貫したドーシングとタンピング						
ポルタフィルターは、きれいにされているか。(挿入前)						
ポルタフィルター挿入後、即抽出開始したか						
同カテゴリーの2杯の抽出時間(3秒以内の差異か)						
SUB TOTAL	0		0		0	
	/7		/7		/7	

14.2.1 グループヘッドの水洗い(湯通し)

それぞれの抽出前にグループヘッドのフラッシュを必ずしてください。フラッシュのタイミングは、ポルタフィルターをはずした直後でも、ポルタフィルターをはめる直前でも構いません。提供された飲料に使用したコーヒーの抽出前にフラッシュしていれば、YES をマークします。

14.2.2 ドーシング前のフィルターバスケットは乾燥/清潔にしているか

もし、飲料の提供前にフィルターバスケットを乾燥・清潔な状態にしていれば、YES をマークします。

14.2.3 ドーシング/グラインド時にこぼす/無駄にしていないか

こぼす/無駄とは、競技中に使用されなかったコーヒー粉のことを指します。つまり、こぼす/無駄の対象となるコーヒーは、ドーシングチャンバーの中の粉、ノックボックスに捨てられた粉、カウンター上の粉、ゴミ箱や床に落とされた粉などをいいます。)提供されなかったコーヒーによって無駄になった粉については、カウントしません。この項目では、カテゴリーあたりで 5g までの"こぼす/無駄"があった場合には、許容範囲とされます。使用されなかったコーヒーが、カテゴリーあたりで許容範囲の場合には、YES、またカテゴリー辺り5g 以上の無駄が出てしまった場合には NO となります。新鮮なコーヒーを得るためにグラインダーから取り除かれたコーヒー粉が適切な量であれば、無駄とはみなされません。

14.2.4 一貫したドーシングとタンピング

コーヒーのドーシングには、異なる方法があります。この項目の評価には、抽出量と抽出時間を考慮に入れます。カテゴリーあたり、一定した抽出量の液体を 3 秒以内の抽出時間差で抽出する仕方であったかを評価します。競技者は、一貫したドーシングとタンピングを実演してください。均等にコーヒー粉を散布し、適した力で水平にタンピングしてください。文化的な相違は考慮の中に入れられます。

14.2.5 ポルタフィルターが清潔か(挿入前)

エスプレッソマシンに挿入前にバスケットのリムやポルタフィルターの耳(フランジ)をきれいにしてください。もし、きれいになっていれば、YES をマークします。

14.2.6 挿入と即時抽出

競技者はエスプレッソマシンにポルタフィルターを挿入したらすぐに、抽出を開始してください。("Basket to the gasket - finger to the ringer.": バスケットをガスケットに、フィンガーを呼び鈴ボタンに!)できていれば、YES をマークします。

14.2.7 抽出時間が、3 秒差以内か

審査員は、すべてのショット(抽出)タイムを計測し、抽出タイムが 3 秒差以内であるかを確認します。もし、同カテゴリーの抽出タイムが 3.0 秒以内の相違であれば、YES をマークします。抽出タイムは競技者がエスプレッソマシンの抽出ボタンを押したときに開始されます。提供されなかった抽出液のタイムは、この項目には含まれません。

14 技術面の評価方法 [Cont.]

14.3 テクニカル評価_ミルク

ミルク						
開始時のピッチャーは空で清潔か						
スチーミング前のノズルの空ぶかし						
スチーミング後のスチームノズルをきれいにしているか						
スチーミング後のノズルの空ぶかし						
終了時にピッチャーは清潔か、許容出来るミルクの無駄か						
SUB TOTAL	0		0		0	
	/5		/5		/5	

14.3.1 開始時にピッチャーは空で清潔か

冷たく新鮮なミルクを清潔なピッチャーに注いでください。準備時間中にミルクをピッチャー内に注いでおくことはできません。ミルクピッチャーは、内側も外側もきれいで、清潔にしておいてください。

14.3.2 スチーミング前のノズルの空吹かし

ミルクピッチャーにスチームワンドを入れる前に空吹かしをしてください。

14.3.3 スチーミング後のスチームノズルをきれいにしているか

スチームワンドは専用のタオルできれいにしてください。

14.3.4 スチーミング後のノズルの空吹かし

競技者はミルクをスチーミングした後、スチームワンドを空吹かししてください。

14.3.5 終了時にピッチャーは清潔か、許容できるミルクの無駄か

カプチーノを作った後のピッチャーは、ほとんどからにしておいてください。ピッチャーにつき、10cl 以下（3 オンス以下）であれば、許容範囲とします。

14.4 テクニカル評価_衛生状態

衛生状態		
衛生的か（スチームノズル、ピッチャー、適切なクロスの使い方）	(0-6pts)*2	
SUB TOTAL		0
		/12

14.4.1 プレゼンテーション全体を通して全体的に衛生的か

プレゼンテーション全体を通して、衛生的かを評価します。

14.4.2 クロスの使い方は適切か

競技時間時には、競技者は、最低 3 枚のクロスを用意してください。また、それぞれのクロスには使用目的を決めてください。審査員は、これらのクロスの使用方法を評価します。競技者は、一枚はスチームワンド用、この一枚はフィルターバスケットの清掃・乾燥用、一枚はエスプレッソマシンテーブルを清潔に保つように使用してください。

下記のことをした場合には、この項目は、NO となります。

- スチームワンドを専用タオル以外で拭いてしまった場合
- 顔を拭いたり、口を拭ったりするなど、衛生的でない使い方をしたり、食の安全でない使い方をした場合
- 床に触れたり、落としたりしたクロスを再度使用した場合

14 技術面の評価方法 [Cont.]

14.5 テクニカル評価_総合

パフォーマンス		
作業スペースの整頓がされ、開始時、終了時に清潔な状態か	(0-6pts)	
総合的な印象度	(0-6pts)*4	
(グラインダーの使い方、抽出状態, ミルクのテクニック, マシンの清潔さ)		
	SUB TOTAL	0
		/30

14.5.1 競技開始時、及び終了時の作業場

a. 競技開始時、及び終了時においてワークステーション内(ワークテーブル、プレゼンテーションテーブル、エスプレッソマシン上部)が、競技者によって清掃され整頓された状態であることを評価します。

b. グラインダーの周囲にごく少量のコーヒーが散らかっている場合には、許容範囲とされます。グラインダーの周りにコーヒー粉が多少あるからといって、0 点にはなりません。

c. 作業エリアが実践的で、効果的に整頓されているかという競技者の能力を評価します。

d. 過剰な準備(ピッチャーに牛乳を注いでおく、他)は減点の対象となります。

e. 競技開始時に最低 3 枚の清潔なクロスを準備してください。クロスは清潔で、それぞれに役割が割り振られていること。(例えば、一枚は、スチームワンド用、この一枚は、フィルターバスケットの清掃・乾燥用、一枚は、エスプレッソマシンテーブルを清潔に保つためなど。競技者のエプロンにつけられたクロスも 1 枚と数えます。)

f. カップは温めておいてください。競技者がカップを温める装置を持っていないのであれば、カップはエスプレッソマシンの上部においておくのがよいでしょう。競技開始時に、カップの中にお水／お湯などが入っていないようにしてください。もし、いかなる時であってもエスプレッソマシンの上部に液体が入ったコップなどがあった場合には、ヘッドジャッジの判断により失格になります。

g. 競技開始時に、ポルタフィルター内にコーヒーパック(ケーキ)が入っていても構いません。この項目では、減点されません。

h. 競技終了時においてワークステーションが清掃されているかを評価します。グラインダーの周囲にごく少量のコーヒーが散らかっている場合には、許容範囲とされます。グラインダーの周りにコーヒー粉が多少あるからといって、0 点にはなりません。

i 競技者が飲料をこぼしてしまうなどのアクシデントが起きた場合には、競技時間内にきれいにしてください。j.

j. 作業中にきれいにしておくこと(こぼした粉などを取り除いたり、テーブルを拭いたりすること)は、競技時間終了前にきれいにすることと同様に競技者の得点獲得の助けになります。

k. エスプレッソマシンや作業テーブル上のすべての陶器、道具(タンパー、カップ、トレイ、ピッチャー等)は、この項目の評価対象となります。

l. 抽出後のパックはポルタフィルター内に残っていても構いません。この項目の評価に加味されません。

14 技術面の評価方法 [Cont.]

14.5 テクニカル評価_総合[Cont.]

14.5.2 総合的な印象度

a. テクニカルジャッジは競技者の道具や設備、アクセサリーの使い方など、全般的な作業の流れを評価します。

b. 競技者は、エスプレッソマシンの正しい使い方と操作方法を理解していることをはっきりと表してください。

c. 競技者は、グラインダーの正しい使い方と操作方法を理解していることをはっきりと表してください。グラインダーを通して、コーヒーの取り扱い方にも評価します。競技者は、準備時間中にグラインダーの調整をしておいてください。競技者は、ショット毎に、もしくは、カテゴリー毎にコーヒーを挽くようにしてください。

d. 競技者は、同カテゴリーにおける抽出液を抽出時間 3 秒差以内の抽出をしてください。

e. テクニカルジャッジは、ポルタフィルター内のコーヒーパックを詳しく調べます。パックの状態はグラインダーの理解度や一貫したドーシングとタンピングの技術をあらわします。テクニカルジャッジは、水平なタンピングか、パックにチャネリングや穴が無いか、パックが湿りすぎていないか、もしくは、乾きすぎていないか、同カテゴリーのショットにおいて、一貫性のあるパックかを調べます。

f. テクニカルジャッジは、プレゼンを通しての作業の流れを評価します。たとえば、調理器具やカップ、アクセサリーの管理の仕方・整頓方法や置き場所、作業ステーションでの競技者の動きや一連の流れ、清潔さやステーションの状態（設備、カウンター、タオル、ピッチャーの状態）などです。また、コーヒーの取り扱いについても評価します。

g. もし、エスプレッソマシンの上部に液体や食材が置かれた場合には、この項目は、0 点となります。

h. ポルタフィルターのスパウト部は綺麗になっているかを評価します。

i. 競技者は、ポルタフィルターの抽出口（スパウト）についている水分もコーヒー粉もふき取り、取り除いてください。タオルを使用したり、指をつかったりして構いません。どのような方法でも構いませんので、きれいな抽出口にしてください。

j. レベリングをする際に、競技者はポルタフィルターの抽出口を直接ドーシングチャンバーの上に持ってきてはいけません。ドーシングチャンバーが水分で汚れてしまう原因となります。

k. 競技者は、高品質なミルクを作るためのスチームワンドの正しい使い方と操作方法を理解していることをはっきりと表してください。

15 外観の評価方法

ビジュアルスコアシートについての説明をします。それぞれの競技者は、2 名のビジュアルジャッジにより評価されます。

15.1 評価基準(尺度)

許容できない= 0 許容はできる= 1 標準 = 2 良い = 3 とてもよい = 4 優秀 = 5 並外れている驚くべき = 6

1 点から 6 点の間において、0.5 点きざみの評価が得られます。ハーフポイントは、小数点を使用し、10 進法にて明記してください。(分数ではありません。)例えば、1.5、2.5、3.5 と記載します。0 点という評価は、全く許容できない場合のみつけることになります。項目によっては評価された点数の 2 倍、もしくは 4 倍の得点が与えられます。

15.2 ビジュアル評価_外観

		FREE POUR MACCHIAT	FREE POUR LATTE	DESIGNER LATTE
ビジュアル				
提供された2杯のドリンクは同様の絵柄か	(0-6pts)*2			
視覚的なエスプレッソとミルクのコントラスト	(0-6pts)			
提供されたカップに対する、絵柄のバランス(位置、大きさ)	(0-6pts)			
難易度の達成度	(0-6pts)*2			
外観的なフォームの質	(0-6pts)*2			
総合的な外観	(0-6pts)*4			
	SUB TOTAL/DRINK	0	0	0
		/72	/72	/72

15.2.1 提供された 2 杯のドリンクは同様の絵柄か

ジャッジは提供された 2 杯のドリンクにおけるパターンと事前に告知された写真の絵柄との類似性、及び再現性を評価します。このカテゴリーのみジャッジは提供された 2 杯のドリンク両方を評価します。競技者は評価されるドリンクを選択することはできません。競技者はパターンに対し意図的に再現することを表してください。

ここではパターンのクオリティに問わず類似性、及び再現性のみが評価されます。完璧に再現された場合、6 点が与えられます。

15.2.2 視覚的なエスプレッソとミルクのコントラスト

ジャッジは提供された飲料のみを評価します。ミルクとエスプレッソの間に鮮明なコントラストが表現されている場合に高得点が与えられます。意図的ではなく滲んだ場合は減点の対象となります。

ジャッジはデザイン上の都合で競技者が意図的に滲ませた場合は、そのことを考慮しなくてはなりません。

15.2.3 提供されたカップに対する絵柄のバランス

ジャッジは提供された飲料のみを評価します。競技者がジャッジに問い掛けない限り、全てのジャッジは右利きと前提します。競技者はジャッジから見て 3 時の方向に取っ手を向け提供してください。

ジャッジはパターンのサイズが提供されたカップに対し適していることを評価します。

ジャッジはパターンが提供されたカップに対し綺麗に配置されていることを評価します。複数の絵柄によりデザインされている場合は、全体的なバランスを評価します。

15.2.4 難易度の達成度

ジャッジは提供された飲料のみを評価します。ジャッジは下図を参照に評価します。競技者は高い難易度のパターンを忠実に表現することにより高得点が与えられます。難易度の高いパターンに挑戦し失敗した場合、高得点は望めません。

難易度			
	1	4	5
	1	3	4
	1	2	3
		達成度	

15.2.5 外観的なフォームの質

ジャッジは粗い気泡がなく、スムーズで艶と粘度性のあるフォームを視覚的に評価します。ジャッジはスプーンを用いて評価します。この際ジャッジはパターンを崩さないように心掛けます。

15.2.6 総合的な外観

ジャッジは提供された飲料のみを評価します。この項目ではジャッジは一般的な顧客の目線において、提供されたドリンクに対する総合的な印象を評価します。

15 外観の評価方法 [Cont.]

15.3 ビジュアル評価_パフォーマンス

パフォーマンス		
プロフェッショナル　パフォーマンス (ホスピタリティー, 安心感, フレアー)	(0-6pts)*4	
	SUB TOTAL	0
		/24

15.3.1 プロフェッショナル パフォーマンス

ジャッジは 2 つの項目を評価します。まず競技者のパフォーマンスとホスピタリティスキルが評価されます。

言葉におけるプレゼンテーションは必要としていませんが、競技時間を通して競技者はコーヒーを提供する者としてのコミュニケーション能力、パフォーマンス能力、心配りにおける能力、個性などが評価されます。

16 JLAC 審査員による不誠実な姿勢について

16.1 概要

もし、競技の審査中に、ヘッドジャッジや他の SCAJ バリスタ委員会により、JLAC 審査員が不誠実な行動が見つかったり、その可能性が予想されるという好ましくない事態が起こったら、次のことが適用されます。

a. ヘッドジャッジは、疑惑のある評価の周辺にあるすべての競技者のスコアを公認記録係より戻すように依頼します。

b. ヘッドジャッジは、関係のある JLAC 審査員を呼び、SCAJ バリスタ委員会とのミーティングによりこの状態を見極めます。

c. SCAJ バリスタ委員会は、非公開のミーティングにより裁決します。

d. もし、不誠実という問題が規模の大きい場合には、SCAJ バリスタ委員会は JLAC 審査員を将来にわたり、SCAJ 認可の競技会にて審査できないという処分を裁定する権限を持ちます。

16.2 嘆願要請

もし、JLAC 審査員がその決定に対して、同意しなかった場合、嘆願として SCAJ バリスタ委員会へ書面にて提出できます。SCAJ バリスタ委員会の決定は、最終判断となります。SCAJ バリスタ委員会への嘆願には、下記の事項を必ず明記してください。

1) 氏名
2) 日付
3) 明瞭簡潔な異議申立文章
4) 問い合わせの日時
5) コメント／解決案
6) 関係者
7) 返信用連絡先情報

上記情報が含まれていない書面による異議申し立て、嘆願は、取り扱いしません。審査員は、デブリーフィングの後、もしくは、不満の元となる決定がなされてから 24 時間以内に、競技会事務局へ E-mail にて送付してください。

16.3 SCAJ バリスタ委員会における再検討される嘆願について

SCAJ バリスタ委員会は、書面による異議申し立て、および嘆願を受け取ってから 30 日以内に再調査、再検討します。最終判断は、競技者または審査員へ郵送、もしくは E-mail にて連絡します。

17 連絡先

17.1 SCAJ 事務局

協会ホームページ: http://www.scaj.org/

17.2 競技会事務局

E-Mail: jlac2012@ech.co.jp

TEL: 03-3831-2605

FAX: 03-5807-3019